

方針と重点	市の基本施策	学校の教育目標	資質・能力を育てたい	基本施策との関わり	本年度新たな学校の重点	具体的な実践内容または観点 (手立てとしてどうか、または達成度はどうか)	評価 A S D	分析と改善点
方針・重点 ・未来社会を創造する資質・能力を身に付け、学び続ける子の育成 ・プレゼンテーション教育・キャリア教育・郷土教育・ICT教育	⑤安全・安心で快適な学校環境の整備 ④DXをとり入れた教育の推進 ③地域の関係団体等との協働による郷土教育の推進 ②子ども自己実現を支える教育の推進 ①豊かな心、健康な身体、確かな学力を育み、生きて働く力を身に付ける教育の推進	ふるさとを愛する心豊かな子ども、たくましく元気な子ども	対話を通して自分の考えをつくり動き出す力	楽しく力をつける学習	① 対話を通して、自分の考えを深め広げる授業づくりを推進する。	切実感のある学習課題を設定し、納得いくまで対話・議論することができる活動を位置付ける。【1単位時間の児童の対話時間50%以上】	B	・対話を通して課題を解決するように、ペアやグループの組み方をいろいろと試みることで、子ども達の対話が活発に行えるようになってきた。 ・学年に応じて追究方法や対話相手などを自己選択するよう設定し、自己決定をしながら学ぶことができた。1時間の授業のねらいを達成できるように、習ったことを活かしたり見通しをもったりして取り組む力を伸ばしていきたい。 ・地域参観日やはちの子会などの機会に学んだことをまとめ、保護者や地域の方々に発信することができた。
					①④ 個別最適な学び、協働的な学びのある授業づくりを推進する。	追究方法を選択できる複線化を図り、児童がICT・図書・資料などを効果的に活用して、自己決定力を育成する。【1単位時間における自己決定場面3回以上】	B	
					①③ 創造力を高めるとともに、まちづくりへ参画する機会を設ける。	ホンモノに触れたり、新しいことに挑戦したりする機会を設けるとともに、積極的に発信、まちづくりへの参加に挑戦する。【各学年団で年間に4回の発信・参画】	B	
				自分・学級・学校を高める生活	② 「なりたい自分」に向かい、自分たちで高まろうとする子を育てる。	自分や仲間がよさを生かして取り組む姿を認め合い、互いのよさを伝え合うことを通して、一人ひとりの「なりたい自分」に向けた取組を支える。【よいこと見つけでの全員の紹介】	B	・「はちの子ニュース」として放送で子ども達のよさを広める取組を行い、多くの先生の手で子ども達のよさを価値づけることができた。子ども達も放送をうれしそうに聞いてくれた。 ・「全校雪遊び」を実施するなど、自分たちで考えて取り組む挑戦を大切にできた。次年度も子ども達の挑戦の機会を設ける中で、じっくりと取り組み、やりきった充実感を味わえるようにしていく。【児童アンケート「学校は楽しい」93%】 ・年6回の教育相談で、希望する先生とも教育相談をできるようにしたことで、子ども達の気持ちに寄り添って、不安や悩みに対して早期対応につなげることができた。【児童アンケート「学校は安心できる居場所があると思う」89%】
					②⑤ 学級・学校の宝づくりを通して、互いを認め高め合える自治力を育む。	自分たちで考えて取り組む学級活動・児童会活動・縦割り班活動を実践し、全校へ発信し、認め合うことを通して、楽しい学校づくりに主体的に参画できるようにする。【児童アンケート「学校は楽しい」80%以上】	B	
					②⑤ 安心・安全な学校をつくるための対話活動を推進する。	心のアンケートやマイサポーターを活用した教育相談、いじめの未然防止と早期発見・対応、保護者との懇談などにおける対話を通して、どの子どもも安心して過ごせる居場所がある学校づくりに努める。【児童アンケート「学校は安心できる居場所があると思う」80%以上】	A	
				地域とともにある学校	②③ 保小中の連携を図り、つながりのある教育活動を推進する。	北稜校区における学校運営協議会、保小中連携の会による組織的な活動を通して、学ぶ機会の充実を図る。(授業や教育活動の相互参観、防災教育、遠隔合同授業などのオンライン連携、さわやか登山など)	A	・年間を通して保育園と1・2年生の交流を行ったことで、お互いの学ぶ機会の充実、関係づくりにつながった。 ・生活科や総合的な学習の時間で、たくさんの地域講師に関わっていただいたり、校区内外の自然や産業などの地域教材に触れたりすることができ、地域から学ぶ機会の充実を図ることができた。 ・地域連携による教育活動について、小学校の学びが中学校の学びへとつながっていくよう、見直しと調整を図りながら取組を行っていく。
					③ ふるさと上宝の資源を生かし、多様な考えにふれる交流を積極的に行う。	地域連携を生かし、地域の自然・環境・歴史・産業などを学び、学び得たことを発信するとともに、その中で多様な人々と関わることを通して、自分の生き方に活かそうとする指導に努める。	A	
					③ 持続可能なふるさと教育を推進する。	これまでの教育活動について、持続可能性を踏まえた見直し・改善を進め、地域連携による教育活動の充実を図る。(PTA、たからまちづくり協議会、高山防災士女子、飛騨山脈ジオパーク協会 等)	A	

学校運営協議会における主な評価内容

- ・授業は、グループで進めるやり方もよいと思ったし、複式学級では上の学年の子が下の学年の子に関わっている姿も見られて、子ども達が楽しそうに勉強をしていて、学校を楽しめているようでよかった。
- ・学校が地域に関わろうとしてくれていることがありがたい。砂防学習やジオパーク研修に関わらせてもらっており、できることは応援していきたいので、相談して取り組ませてもらいたい。